

## Design Your Smile

健康創造のスズケングループ

### 表紙について

スズケングループCSRの活動を表紙全体で表現しました。ハートは、ステークホルダーへの想いを表しており、少女が両手でハートを包み込む仕草に、すべての人々に「笑顔」になっていただきたいというメッセージを込めました。そして、ハートからあふれ出ているたくさんの光彩は、人々が健康で「笑顔」あふれ、輝いている姿を表現しました。

スズケングループCSRの始動から3年を経て、活動は着実に進み、たくさんの「笑顔」が生まれています。これからも、すべての人々の「笑顔」の実現に向かって、さらなる成長を目指すスズケングループの姿を少女に重ね合わせています。

### ■本書に関するお問合せ先

株式会社スズケン CSR推進室 〒461-8701 名古屋市東区東片端町8番地 TEL(代表):052-961-2331

### スズケングループCSR報告書 環境等への配慮



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



管理森林から伐採した木材を使用して自然森林を守っています。



インキ中の石油系溶剤をすべて排除し、植物油(大豆油)に切り換えた環境配慮型水なしVOCフリーインキで印刷しました。

※VOC(揮発性有機化合物): Volatile Organic Compounds



印刷時に有毒な廃液が出ない水なし印刷方式で印刷しています。

2013年10月発行

# Smile

## Communication

スズケングループCSR報告書  
2013



# すべての人々を「笑顔」に

スズケングループ経営理念の実現こそが、わたしたちのCSRビジョンです。

スズケングループはグループ経営理念の実現に向けて、経営の基盤となる「コーポレート・ガバナンス」「コンプライアンス」「リスクマネジメント」をより深く浸透させ、揺るぎないものにしていく一方で、新たな価値を創造し、さらなる高みに向けて挑戦し続けていきます。そのためには、ステークホルダーの皆さまへの想いを大切に、ステークホルダーの皆さまとの双方向コミュニケーションをさらに充実し、グループ総合力を発揮することが重要と考えています。

## スズケングループ経営理念

経営理念のキーワードは「笑顔=スマイル」です。健康の先には笑顔があるとの想いから生まれました。健康創造という事業領域で、患者さま、お得意さま、株主さま、社員やその家族、地域や社会などわたしたちを取り巻くすべての方々に「笑顔」になっていただきたい、そんなメッセージが込められています。

### ミッション

存在意義・使命

「健康創造のスズケングループ」は、グループの英知を集め、すべての人々の笑顔あふれる豊かな生活に貢献し続けます

スズケングループの存在意義、社会から与えられている使命を表したものです。

### ビジョン

将来の理想像

「健康創造のスズケングループ」は、健康に関わるさまざまな領域で、新しい価値を創造することに挑戦し、すべての人々の笑顔を応援するベストパートナーを目指します

スズケングループの目指すべき方向、将来あるべき姿を表したものです。

### バリュー

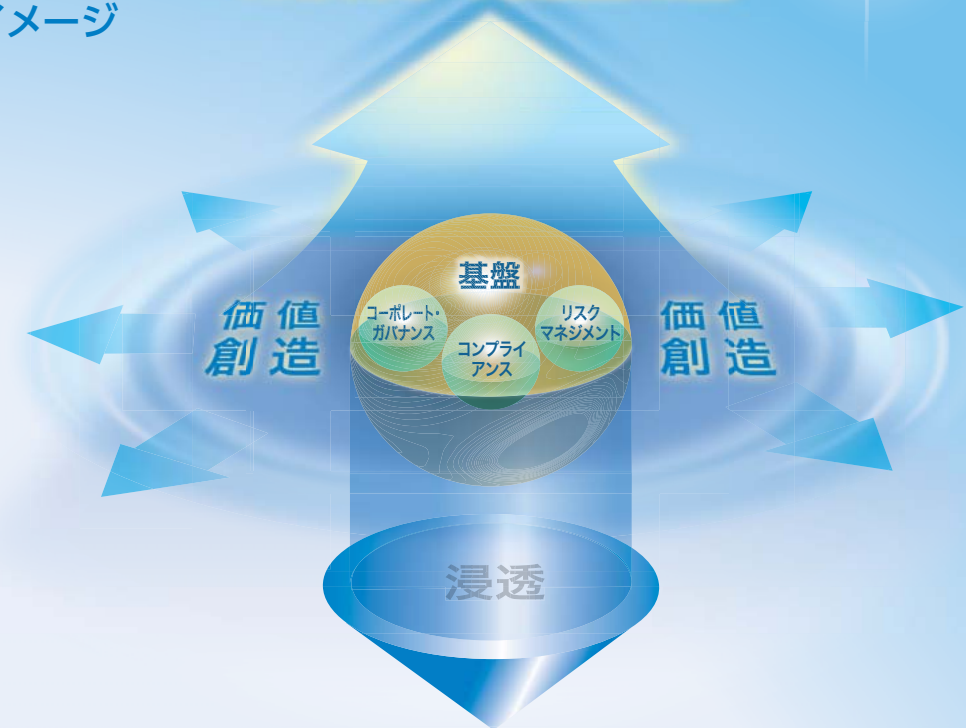
行動基準

**SMILE** 誠意 (Sincerity) と倫理観 (Morality) をもって 独自性 (Identity) を生かし お得意さまに学ぶ (Learning) 心で 進化 (Evolution) し続けます

スズケングループの価値観で、社員一人ひとりの行動基準を表したものです。それぞれのイニシャルをとると、キーワードの「笑顔」、つまり「SMILE」となります。

スズケングループ CSR推進イメージ

CSRビジョン  
スズケングループ経営理念の実現



ステークホルダーとその想い



## CONTENTS

■スズケングループのCSR .....01	■活動報告	Close-Up1 糖尿病治療のベストパートナーを目指して...21
■トップメッセージ .....03	●従業員 .....11	Close-Up2 高い専門性と地域連携で在宅患者さまのQOL向上に貢献.....23
■特集	●お得意さま .....13	Close-Up3 電子血圧計による環境保全への貢献.....25
一貫した医薬品流通体制で日本の医療と健康を支える .....05	●ビジネスパートナー .....17	■健全な企業活動ですべての人々を笑顔に.....27
■重点テーマと2012年度目標 .....09	●地域社会 .....18	■スズケングループの概要 .....29
	●株主・投資家 .....19	
	●地球環境 .....20	

### 編集方針

#### ●お読みいただくにあたって

スズケングループは「健康創造」の事業領域で、すべての人々に「笑顔」になっていただくために、ステークホルダーごとに基本的な取り組み姿勢と重点テーマを定めています。2012年度は、それぞれの重点テーマに対し、定性的な目標を掲げ、さまざまな取り組みを行ってきました。本書ではスズケングループの強みを活かした取り組みの一部を紹介しています。

### 報告対象

#### ●組織

(株)スズケンとその子会社からなる「スズケングループ」を対象としています。スズケングループの事業ごとの取り組みに関する報告については、「医薬品卸売事業では」と、主語を事業名にしています。また、各社ごとの取り組みに関する報告については、「(株)スズケンでは」と、主語を各社の会社名にしています。パフォーマンスデータは(株)スズケンとデータを集計しているグループ会社を対象としています。

※スズケングループ各社については「スズケングループの概要(P.29)」をご覧ください。

#### ●期間

2012年4月1日～2013年3月31日 ※期間以外の取り組みも一部含んでいます。

## グループ一体となったCSRの展開

**ス**ズケングループはグループ経営理念の実現をCSRビジョンとして、2010年より活動をスタートしました。すべての従業員がCSRのビジョンを理解し、行動に移すことを第一歩として、2年目からは、ステークホルダーごとに重点テーマと具体的な取り組み内容を定め、着実に歩みを進める中でさまざまな成果を得ることができました。

一方で、課題も残されています。その一つは、わたしたちの取り組みをステークホルダーの皆さまに評価していただくための評価指標の設定と進捗状況の「見える化」です。もう一つは、さらなる「笑顔」の実現に向けてグループ一体となった取り組みを従来にも増して展開していくことです。これらの課題の解決に向けて、ステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションをさらに充実させるとともに、スズケングループ各社がそれぞれの力を高め、その力を融合し、グループ総合力を発揮するための環境づくりを推し進めてまいります。

## 医療と健康を支える社会インフラとしての使命を果たす

**ス**ズケングループの強みは、医薬品・医療機器の開発・製造・物流、調剤、健康支援、介護など、医療と健康に関わる事業を総合的に展開し、医療バリューチェーンを構築していることにあります。そして、この強みを最大限に発揮することによって、より多くの皆さまの「笑顔」の実現を目指しています。

現在、スズケングループは医薬品流通において、医薬品の原材料の輸送に始まり、医薬品メーカーから医薬品卸、そして医療機関・保険薬局へ、さらには患者さまのお手元に届くまで、すべての過程に携わっています。いかなる場合においても、必要な時に、必要な場所へ、必要な量の医薬品をお届けすることはスズケングループの社会的使命であり、それは単に医薬品をお届けするだけでなく、品質を確保し、安定的に供給する体制が確立されて初めて成し遂げられるものです。

スズケングループは、日本の医療と健康を支える社会インフラとしての使命を果たすために、医薬品流通のさらなる機能強化を図ってまいります。

## 事業活動を通じた新たな価値の創造とさらなる経営の基盤の強化

**ス**ズケングループは、時代とともに変化するニーズをいち早くとらえながら、新しい商品やサービスを生みだしてきましたが、それを可能にしているのが、医療バリューチェーンです。そして、グループ各社の有する専門性と多様な人材が力を発揮することによって、事業活動を通じた「新たな価値の創造」が可能になると確信しています。

その一つの例が、希少疾病領域における新たな機能モデルの創出です。希少疾病用医薬品は、対象となる患者さまが限定されるため、研究開発や流通、情報提供、患者支援などにおいて、ニーズを満たしきれていない現状があります。たとえ一人でも病気に苦しむ患者さまがいる以上、必要とされる医薬品を安全かつ安定的にお届けすることは、医薬品流通に携わる企業の社会的使命であり、スズケングループが総合力を発揮すれば果たすことができると認識しています。

もう一つの例は、高齢者介護への取り組みです。超高齢社会を迎えた日本において、高齢者介護は、



ご本人、ご家族、さらには社会全体にとって大きな課題となっています。介護が必要になっても、住み慣れた地域で、安心して生活を送ることができる地域社会の実現を目指し、介護事業を通して医療と介護の連携を支援しています。

これからも、スズケングループは、社会や環境の変化に柔軟に対応しながら、「健康創造」という事業領域で社会への貢献を具現化してまいります。また、経営の基盤となる「コーポレート・ガバナンス」「コンプライアンス」「リスクマネジメント」の強化に努めるとともに、グループの従業員一人ひとりが、すべての人々の「笑顔」の実現に向かって邁進してまいります。

# 健康創造の事業領域で 新たな価値を創造し、 社会に貢献します

株式会社スズケン 代表取締役会長

梶野芳樹

# 一貫した医薬品流通体制で日本の医療と健康を支える

## 医薬品に関わる人々のご期待に応えるための一貫流通体制

医師の処方等の下、患者さまに使用される医薬品を「医療用医薬品（以降では、医療用医薬品を医薬品と表記します）」と呼びます。医薬品メーカーで

研究・開発・製造された医薬品は、医薬品卸売会社へ輸送された後、医療機関・保険薬局などに配送され、患者さまのお手元に届けられます。

スズケングループは、医薬品原材料の輸送から、患者さまのお手元に届くまで、医薬品流通のすべての過程

に一貫して携わっています。この過程で共通して求められているのは、「品質の確保」と「安定的な供給」であり、スズケングループはその要望にお応えするために「一貫した医薬品流通体制」を構築するとともに、絶え間なき改善と新たな価値創造に向けて

取り組んでいます。

「品質の確保」については、厳格な管理体制の下、すべての医薬品の安全性や有効性の維持に努めています。特に、近年、増加している2℃～8℃といった極めて限定的な温度帯で管理することが義務付けられる医薬品に

ついては、さまざまな技術の開発・導入や品質管理体制のさらなる強化などにより、徹底した温度管理を行っています。

「安定的な供給」については、全国各地に物流拠点を配置し、お客様さまの要望に迅速にお応えできるよう、

豊富な品揃えで在庫を保有しています。

スズケングループはグループ各社が専門性を高め、強みをつなげることで「一貫した医薬品流通体制」を構築しており、日本の医療と健康を支えるという極めて重要な使命を担っています。

## 医薬品流通の各過程におけるスズケングループの携わり

### 医薬品を製造している(株)三和化学研究所の工場では…

**〈品質の確保〉**  
高度な管理システムや最新鋭の設備を導入するなど、国際競争力のある高度な生産体制で医薬品を製造しています。

**〈安定的な供給〉**  
必要とされる医薬品の不足が生じないように、適正在庫を設定し、計画的に生産する体制を敷いています。また、主力製品においては生産工場の複線化体制を敷いています。

### 医薬品を保管しているスズケングループ※1では…

※1 医薬品を保管しているスズケングループ：(株)スズケン/(株)スズケン沖縄薬品/(株)スズケン岩手/ナカノ薬品(株)/(株)サンキ/(株)アステイス/(株)翔薬/神宮薬品(株)/秋山物流サービス(株)/(株)コラポワークス/中央運輸(株)

**〈品質の確保〉**  
医薬品を保管している倉庫では、空調機器等により倉庫内や保冷庫内を定められた温度帯に保つとともに、温度監視装置を設置し、倉庫内や保冷庫内の温度を常にモニタリングしています。

**〈安定的な供給〉**  
医薬品を保管できる物流拠点を全国に270箇所以上配置しています。約30万㎡(東京ドーム約7個分)の保管スペースには、豊富な品揃えで在庫を保有しています。

物流拠点  
**270箇所以上**

保管スペース  
**東京ドーム 約7個分**

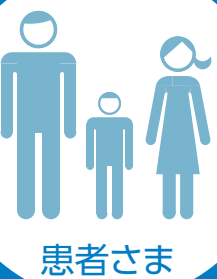
原材料会社

医薬品メーカーの工場

医薬品メーカーの倉庫

医薬品卸売会社の倉庫

医療機関・保険薬局



患者さま

調達物流

生産物流

販売物流

卸物流

### 医薬品の輸配送を行っているスズケングループ※2では…

※2 医薬品の輸配送を行っているスズケングループ：(株)スズケン/(株)スズケン沖縄薬品/(株)スズケン岩手/ナカノ薬品(株)/(株)サンキ/(株)アステイス/(株)翔薬/神宮薬品(株)/(株)スズケンロジコム/秋山物流サービス(株)/(株)サンキ・メディハート/中央運輸(株)/P・J・Dネットワーク(株)

**〈品質の確保〉**  
輸配送で用いる車両の一部に保冷車を採用しています。また、特に厳格な温度管理が必要な医薬品を運ぶために、温度を長時間にわたって一定に保つ「定温輸送ボックス」を開発しました。「定温輸送ボックス」には温度ロガー（温度記録装置）を設置し、納品先のお得意さまに輸配送中の温度を確認していただけるようにしています。

#### 厳格な温度管理を行うための車両・設備

▼中央運輸(株)の保冷車



▼(株)スズケンロジコムの保冷車



▼倉庫間輸送に使用している保冷カゴ車



#### 定温輸送ボックスと関連 資材

▼定温輸送ボックス



▼温度ロガー  
(温度記録装置)



▼定温輸送ボックス内



外気温「連続+35℃」および「連続-10℃」の状況下で72時間「2～8℃」および「-15℃以下」を維持することを社内品質基準としています。

**〈安定的な供給〉**

貨物自動車運送事業用車両を含む約7,000台の車両を保有し、医薬品を全国へお届けしています。

保有車両  
**約7,000台**



### 医薬品の調剤を行い、患者さまへお渡ししているスズケングループの保険薬局事業※3では…

※3 スズケングループの保険薬局事業：(株)すずらん薬局/(株)エスマイル/(株)メディシス/(株)ファークロス ほか

**〈品質の確保〉**

店舗の室温を一定に保つために営業時間内はもちろんのこと、必要に応じて営業時間外も空調機器を継続稼働させ、医薬品の温度管理を行っています。また、患者さまへのサービス向上や知識・技術のさらなる習得に向けて、事例やノウハウ等を豊富に有する薬科大学と連携し、教育ツールを作成しました。教育ツールを活用することで、サービスの質や医薬品の品質維持・安全意識の向上を図っています。

**〈安定的な供給〉**

全国に300箇所以上の店舗を配置し、各地域の患者さまへ品質を確保した医薬品をお渡ししています。

大規模災害への備え

災害時などの有事の際にも、医薬品を中心とした生命関連商品をお届けすることはスズケングループの社会的使命です。しかし、残念ながら、東日本大震災では関東の3つの物流センターの機能が一時停止し、医療機関・保険薬局へ医薬品を十分にお届けできないという事態が発生しました。その経験も踏まえ、次のような取り組みを行っています。

- ①[BCP(事業継続計画)手順書]の作成と定期的な訓練の実施
- ②耐震基準を満たしていない建物の建て替えや移転の推進
- ③物流センターの機能が停止した場合、近隣の物流センターがバックアップする体制を整備
- ④名古屋にある(株)スズケン本社の販売・物流の基幹システムに障害が発生した場合に備えて、札幌にバックアップシステムを構築(右図参照)
- ⑤停電時にも医薬品の温度管理などを維持するために、物流センターなどに非常用自家発電機を順次設置(右図参照)
- ⑥中央運輸(株)では、発電機・車両用の燃料を備蓄(右図参照)
- ⑦(株)三和化学研究所では、主力製品の生産がストップしても、他の工場でカバーできるように生産工場の複線化体制を構築

このように、いかなる場合も医薬品の流通が途絶えることがないように、体制の強化を鋭意進めています。スズケングループ全体で見ると、大規模災害に対する備えはまだ課題があると認識しています。

医薬品流通のすべての過程において、有事の際にも「品質の確保」、「安定的な供給」ができる体制をさらに強化・再整備し、社会的使命を果たしてまいります。

医薬品流通の新たな価値創造に向けて

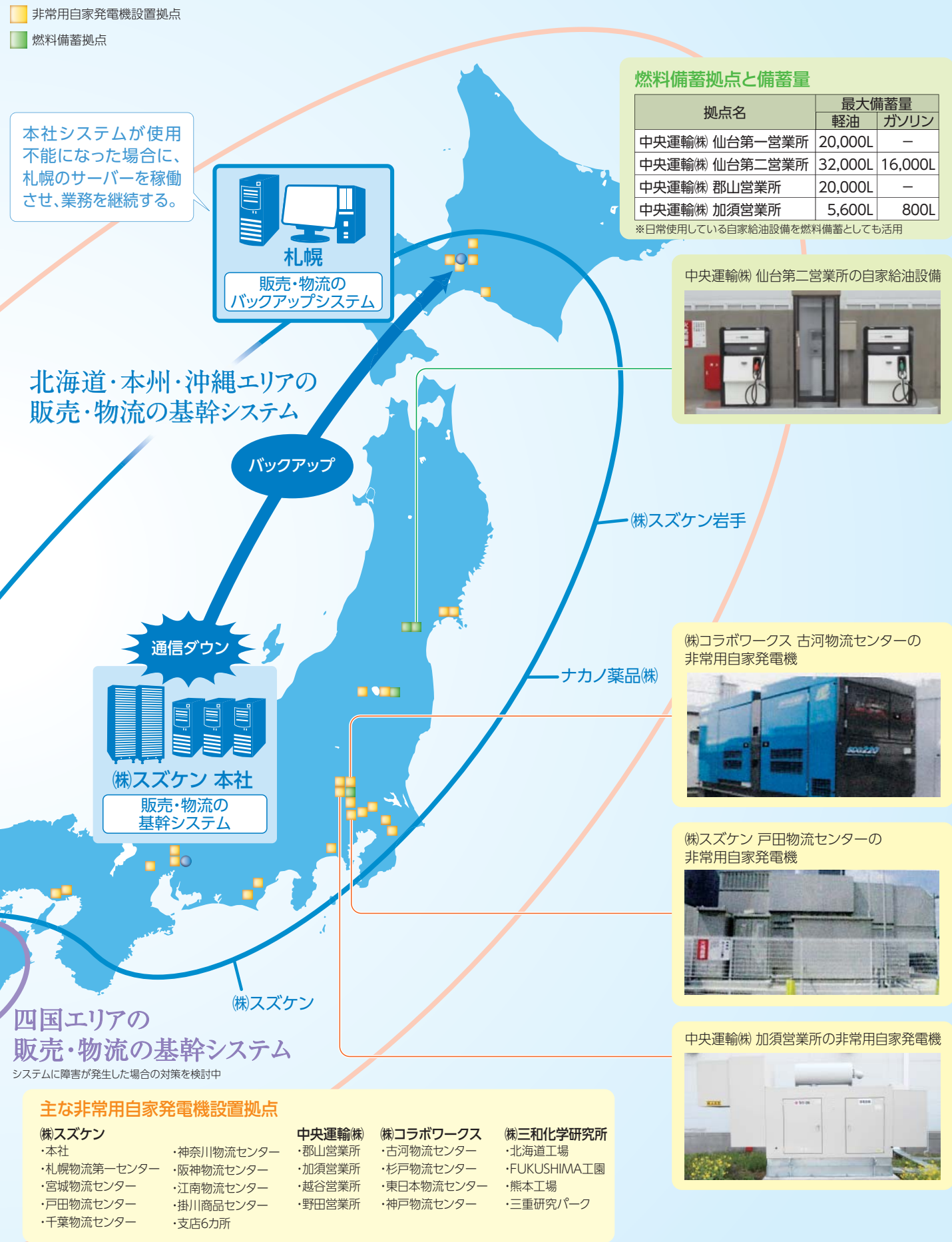
新しい価値を持つ薬が世の中に誕生するためには、安全性・有効性を評価するための「治験」が不可欠です。スズケングループでは、厳格な温度管理の下で治験薬を全国の医療機関まで配送できるしくみを構築し、現在、月に約600件の治験薬配送を行っています。

治験薬と同様に、対象となる患者さまが限定される希少疾病用医薬品の流通も、スズケングループがお役に立てる分野の一つです。希少疾病用医薬品の中には、輸入量や医薬品メーカーが製造する量が少なく、その数量

に限りがある場合があります。そのような中、特定の薬剤を、必要な時に、品質を確保して、安定的にお届けすることで、患者さまやご家族、医療従事者の皆さまの安心を支えたいとの思いから、2012年3月、希少疾病用医薬品の流通に特化した事業を展開する(株)SDネクストを設立しました。

治験薬や希少疾病用医薬品に限らず、医薬品を必要とされるすべての患者さまのもとに安全・安定的にお届けすることは、医薬品流通に携わるスズケングループの大切な使命です。「スズケングループなら安心」と信頼していただくために、これからも医薬品流通で求められる機能を追求するとともに、新たな価値の創造によって医療と健康に関わるすべての人々の期待にお応えしてまいります。

スズケングループ物流ネットワークの災害対策 (P.7 本文④、⑤、⑥のイメージ図) (2013年7月31日現在)



(株)スズケンにおける災害対策本部立ち上げ訓練



(株)三和化学研究所 熊本工場の非常用自家発電機

# 従業員

**想い** 人を大切にしたい

**[基本的な取り組み姿勢]**

スズケングループ経営理念の実現に向かって、ともに働く従業員を大切にしていきます。従業員が働きやすさ・働きがいを得られるように、個性や価値観などを理解・尊重し、安全に、安心して、いきいきと働ける職場を目指します。

重点テーマ	2012年度目標
安全で働きやすい職場環境の整備	●健康増進支援の体制づくり ●労働災害のない職場づくり
働きがいのある職場づくり	●ダイバーシティの推進 ●ワーク・ライフ・バランスの推進



P.11

# ビジネスパートナー

**想い** ともによきパートナーとして相互に発展していきたい

**[基本的な取り組み姿勢]**

一緒に働く仲間として常に対等な立場で、コミュニケーションを大切にしながら信頼関係を深め、相互連携を強化していきます。こうした取り組みを通して、当グループは、ビジネスパートナーの皆さまとともに社会への責任を果たし、ともによきパートナーとして、相互に発展していくことを目指します。

重点テーマ	2012年度目標
相互発展に向けた公正・公平かつ透明な関係の強化	●公正・公平な取引に向けたコンプライアンスの徹底 ●パートナー企業との協働を強化



P.17

# 株主・投資家

**想い** スズケングループを深くご理解いただきたい

**[基本的な取り組み姿勢]**

適時・適切な情報開示に加え、双方向コミュニケーションのさらなる強化と株主・投資家の皆さまの視点に立ったIR<sup>※2</sup>活動の充実により、当グループを深くご理解いただくことを目指します。また魅力のある配当・株主優待などの株主還元にも努めます。

※2 IR:株主・投資家向け広報



P.19

重点テーマ	2012年度目標
株主・投資家の皆さまとのコミュニケーション強化	●適時・適切な情報開示 ●IR活動の充実
株主還元の充実	●安定的な配当の継続 ●株主優待の充実

# お客様

**想い** なくてはならない存在になりたい

**[基本的な取り組み姿勢]**

コミュニケーションを充実させ、お客様の視点に立ってニーズの把握に努め、グループ一体となって感動していただける商品・サービスをきめ細やかに提供します。また、高品質で安全・安心な商品・サービスを安定的にお届けできる体制を強化します。こうした取り組みを通して、お客様にとって、なくてはならない存在になることを目指します。

重点テーマ	2012年度目標
お客様ニーズを的確に把握し、感動していただける商品・サービスを提供	●グループ総合力を活かした商品・サービスの提供 ●QOL <sup>※1</sup> 向上に役立つ商品・サービスの提供
高品質で、安全・安心な商品・サービスの安定的な供給	●商品・サービスの安定供給体制の強化 ●高品質な商品・サービスの提供

※1 QOL: Quality Of Life (生活の質)



P.13

## 重点テーマと2012年度目標

スズケングループは、すべての人々の「笑顔」の実現に向けて進むために、ステークホルダーの皆さまへの想いを大切にして、基本的な取り組み姿勢に基づいて重点テーマを設定し、取り組み目標を定めて活動しています。

# 地域社会

**想い** かけがえのない存在になりたい

**[基本的な取り組み姿勢]**

地域社会との共存・共栄のために、地域の皆さまと交流を図り、「健康創造」を事業領域とした当グループだからこそできる取り組みを行います。地域の皆さまの健康に関する課題の解決や健康維持・増進に役立つ活動を行い、地域社会にとって、かけがえのない存在になることを目指します。

重点テーマ	2012年度目標
地域住民の健康維持・増進支援	●健康維持・増進に関する支援
次世代の育成支援	●子どもの健全な成長の支援 ●学生の教育に関する支援



P.18

# 地球環境

**想い** 地球の健康に貢献したい

**[基本的な取り組み姿勢]**

環境に関連する法律・規則および協定などを遵守し、環境マネジメントシステムに基づいて継続的な改善に努めることにより、地球の健康に貢献することを目指します。

重点テーマ	2012年度目標
地球温暖化対策の強化	●CO <sub>2</sub> 排出量の削減
省資源・循環型社会への貢献	●環境にやさしい製品の開発

# 従業員

人を大切にしたい

## 重点テーマ

- 1 安全で働きやすい職場環境の整備
- 2 働きがいのある職場づくり

## 2012年度目標

- 健康増進支援の体制づくり
- 労働災害のない職場づくり
- ダイバーシティの推進
- ワーク・ライフ・バランスの推進

## 2013年度目標

- 健康増進支援の体制づくり
- 労働災害のない職場づくり…交通事故 前年比 **33%削減**※2
- ダイバーシティの推進…女性管理職数 **22人**※3
- ワーク・ライフ・バランスの推進…従業員1人当たりの年次有給休暇取得日数 **7日**※4

※2、※4 目標数値は㈱スズケンの2013年度目標  
※3 目標数値は㈱スズケンの中期目標

### 重点テーマ

## 1 「安全で働きやすい職場環境の整備」に向けて

グループで連携して“健康創造企業”の従業員にふさわしい「健康維持・増進支援体制」を整備することが必要と考えています。また、重大な労働災害につながるおそれがある交通事故のゼロ化に力を入れて活動しています。

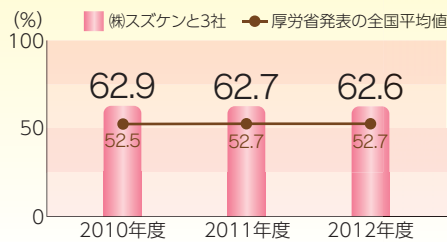
目標：健康増進支援の体制づくり

## 健康自己管理の支援体制を整えています

従業員が心身ともに健康な状態で仕事に取り組みやすいよう支援していくことが「健康創造のスズケングループ」のあるべき姿だと考えています。㈱スズケンでは有所見率※1の改善に向けて、健康相談室の設置と専任スタッフによる健康指導などにより、支援体制を整えつつあります。

今後は、グループ各社の連携をさらに強化し、再検査基準の統一や健康自己管理の啓発活動を効果的に行う必要があると考えています。

【健康診断の有所見率の推移】



※1 有所見率：健康診断結果を元に会社の産業医が判断をして「異常あり」と認められた者の割合



健康相談室 鳥巣妃佳里保健師による㈱スズケンにおける「健康セミナー」

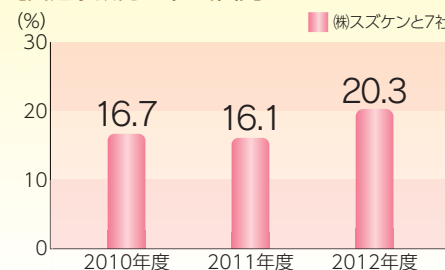
目標：労働災害のない職場づくり

## グループ一体となって安全運転を推進しています

医薬品卸売事業および医薬品製造事業では約7,000台の車両を保有しています。営業・配送活動中に発生する交通事故は地域住民の生活をおびやかすことはもとより、乗車している従業員自身も重大な労働災害につながる可能性があります。そのため、交通事故の防止を重点的に取り組むべき課題として共有し、グループ一体となって安全運転に力を入れています。

近年、事故発生率が増加傾向にあるため、2013年度はグループ各社間で交通事故事例や取り組みについての情報共有を行い、より効果的な取り組みの検討を進める必要があると考えています。

【交通事故発生率の推移】



\*交通事故発生率=交通事故(加害・加被害・自損)÷保有車両台数



### 重点テーマ

## 2 「働きがいのある職場づくり」に向けて

働く意欲や能力を最大限発揮でき、育児や介護なども両立しながら充実した生活を送ることができる職場づくりに向けて、ダイバーシティ、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでいます。

目標：ダイバーシティの推進

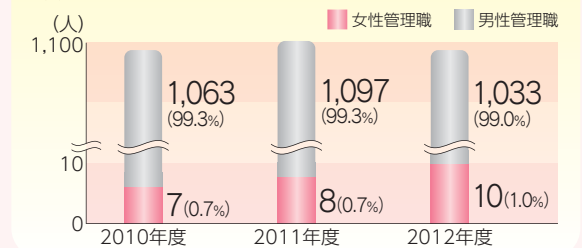
## 女性の活躍を推進しています

女性が活躍するためには、本人の意識の醸成に加えて、上司・同僚などの意識を変えることも重要な課題と考えています。そのため㈱スズケンでは、これまで人数が少なかった女性総合職を対象にセミナーなどを行うと同時に、その上司に対してもセミナーや

面談などの育成支援を行っています。これらの取り組みにより環境が整ってきたことで、管理職として活躍する女性も増えてきました。今後、女性の活躍をはじめとするダイバーシティの実現に向けた取り組みは、グループ全体で行う必要があると考えています。



【㈱スズケンの男女別管理職数推移】



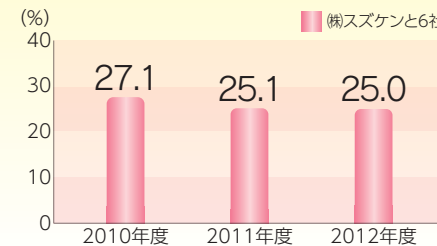
目標：ワーク・ライフ・バランスの推進

## 生活時間の創出を推進しています

生活時間※5の創出のために、業務効率化の推進を中心に、職位者に対する研修を通して適正な労働時間の管理・年次有給休暇の取得推進・中学就学前までの育児短時間勤務制度の活用などの周知徹底および定期的な啓発活動を行っています。2012年度は特に計画年休表を作成し、有給休暇の取得促進に力を入れました。今後は、グループ一体となって、育児なども含めた生活時間の創出に向けた制度の有効活用を推進していく必要があると考えています。

※5 生活時間：生活活動時間の内、労働生活に関わる時間とそれ以外の消費生活に関わる時間に分け、後者に費やされる時間のこと

【年次有給休暇の取得率の推移】



育児休業を取得し、育児をしている  
㈱翔業 西福岡支店の松尾亜衣氏と  
㈱翔業 福岡支店の松尾宏明氏とお子さま

# お得意さま

なくてはならない存在になりたい

## 重点テーマ

- 1 お得意さまニーズを的確に把握し、感動していただける商品・サービスを提供
- 2 高品質で、安全・安心な商品・サービスの安定的な供給

## 目標

- グループ総合力を活かした商品・サービスの提供
- QOL向上に役立つ商品・サービスの提供
- 商品・サービスの安定供給体制の強化
- 高品質な商品・サービスの提供

※2012年度と2013年度の目標は同じ



(株)サンキ・クリニカルリンク 治験コーディネーター 萩原知保氏と医薬品メーカーさまとの打合せ

Close-Up ...別ページで詳細に紹介しています。

## 重点テーマ

# 「お得意さまニーズを的確に把握し、感動していただける商品・サービスを提供」に向けて

お得意さまのご意見・ご要望など、顕在しているニーズだけでなく、潜在的なニーズも把握し、グループ総合力で新しい商品・サービスの開発・提供に取り組んでいます。今後の課題として、ニーズの多様化に合わせ、将来必要とされる商品・サービスを開発し、提供することが必要だと考えています。

目標:グループ総合力を活かした商品・サービスの提供

## グループ総合力で医療機関・薬局・介護事業所の皆さまを支援しています

### 経営効率化支援

- ・在庫管理システムによるお得意さま業務の効率化。
- ・患者さま満足度や従業員同士のコミュニケーションの向上を目的とした参加型研修の提案・実施。
- ・医療用品のダイレクト販売サービス。
- ・保険コンサルティング事業による患者さまや第三者に対する賠償保険などの提案。
- ・広告・出版・映像事業による医療広報誌・広告などの企画提案・制作。

### 開業・開局支援

- ・開業・開局のプランニング、予定地の需要調査から効果的なレイアウトの設計、建築、機器選定やスタッフの研修などのサポート。



心電図の解析を行う(株)スズケン 顧問 児玉逸雄名古屋大学名誉教授



(株)スズケン 営業企画部によるお得意さま対象の研修

### 診断支援

- ・操作性と精度を追求した血糖測定器・聴診器・血圧計・心電計・ホルター心電計などの診断機器の開発。
- ・ホルター心電図解析診断支援事業による専門医から主治医への所見を付加した心電図解析記録の提供。
- ・遠隔画像診断支援事業による放射線専門医から一般医への画像読影報告書の提供。

(株)スズケン 北仙台支店 佐藤郷氏による仙台市 向陽台クリニックさまへの情報提供



医療用品ダイレクト販売のカタログ

目標:グループ総合力を活かした商品・サービスの提供

## グループ総合力でメーカーの皆さまを支援しています

- (株)三和化学研究所では、世界初のワンステップ構造プロセスと可変式二重構造枠が特長のOSDrC®技術\*1を用い、難成形物質の製剤化など、新しい製剤の開発を支援しています。

※1 OSDrC® (One-Step Dry-Coating) 技術: 新規錠剤成形技術

- (株)スズケンでは、心臓安全性評価支援事業として、自社開発の治験専用心電計と高精度なQT\*2計測システムを使い、医薬品メーカーさまが実施される臨床試験段階の心臓安全性評価を支援するサービスを行っています。

※2 QT:心臓の電氣的収縮時間

- (株)サンキ・クリニカルリンクでは、中国・四国地方を中心に、治験支援事業と治験コーディネーターの派遣事業を行っています。

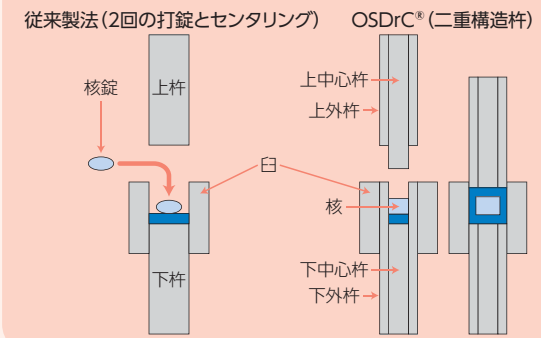
- (株)コラボワークスおよび中央運輸(株)では、医薬品メーカーさまの治験薬の保管や医療機関への直接配送を実施しており、SOP\*3に基づく品質管理、業務効率化等を支援しています。

※3 SOP (Standard Operating Procedure): 標準作業手順書

- エス・マックス(株)では、MR\*4活動等分析データを中心に、医療用医薬品情報の調査・集計・分析・報告書など、マーケティング課題解決を支援しています。

※4 MR (Medical Representative): 医療情報担当者

[錠剤の従来製法と(株)三和化学研究所のOSDrC®技術製法の比較イメージ図]



目標:QOL向上に役立つ商品・サービスの提供

## グループ総合力で患者さま・個人の皆さまの生活を支援しています

- (株)三和化学研究所において、2006年に糖尿病食後過血糖改善剤「セイブル錠」を発売し、2013年6月現在、約40万人の患者さまに服用していただいています。また、2012年11月に選択的DPP-4阻害剤-2型糖尿病治療剤「スイニー錠」を発売し、糖尿病治療のベストパートナーとして糖尿病患者さまの血糖コントロールに貢献しています。Close-Up 1 P.21

- 保険薬局事業において、在宅の患者さまへの訪問服薬指導を積極的に行っています。また、無菌調剤室を設置(8店舗2013年3月31日現在)するなど、地域の在宅医療において薬のプロフェッショナルとしての役割を果たしています。Close-Up 2 P.23

- 介護事業において、居宅介護支援、訪問介護、訪問入浴、訪問看護、訪問歯科サポート、介護タクシー、デイサービス、小規模多機能センター、グループホーム、福祉用具サービス、サービス付高齢者向け住宅など、ご利用者さま・ご家族の要望に合うサービスメニューを提供しています。

- (株)スズケンでは、ヘルスサポート事業部において、保健指導サービスを提供しており、運動指導・食事指導・生活習慣改善にお役立ていただけるツールを提供しています。



(株)ファークロス ファークロス用資三丁目薬局における無菌調剤室での製剤



サンキ・ウエルビー(株) 小規模多機能センター 祇園の佐久間未来氏とご利用者さまとのコミュニケーション



# 重点テーマ 2 「高品質で、安全・安心な商品・サービスの安定的な供給」に向けて

生命関連商品を扱っていることを常に意識し、高品質で安全・安心な商品・サービスの安定的な供給体制づくりに取り組んでいます。今後も供給体制をさらに強化しつつ、各事業において大規模災害などを想定した、より実効性の高い安定的な供給体制を整備していく必要があると考えています。

目標：商品・サービスの安定供給体制の強化

## 有事に備え 安定的な供給体制の整備に取り組んでいます

地震などの大規模災害や新型インフルエンザの流行といったパンデミックなどの有事の際にも「医薬品をお得意さま・患者さまに供給すること」を最優先業務と位置付け、有事における安定的な供給体制の整備に取り組んでいます。

医薬品卸売事業において、災害などにより物流センターの機能が停止した場合は、近隣の物流センターを基軸にバックアップ体制を整えています。停電への備えとして、ほぼすべての物流センターに非常用自家発電機を設置し、災害対策を強化しています。

また、販売・物流の基幹システムが設置してある名古屋が大規模災害に見舞われ、システム機能に障害が生じた場合を想定し、札幌にバックアップシステムを設置しています。



(株)スズケン 戸田物流センターの非常用自家発電機



(株)スズケン 江南物流センターの非常用自家発電機

目標：高品質な商品・サービスの提供

## 高品質な医薬品を安定供給するために 国際基準の品質保証体制を実現しています

(株)三和化学研究所では、高品質の製品を生産するため、高度な管理システムや最新鋭の設備を導入しています。各工場の原料・資材の購買計画から生産計画、出荷状況、そして本社の経理・財務までを一元管理し、効率的な生産体制をサポートする「基幹系業務システム」を構築。高品質の製品をローコストで安定供給するSCM<sup>※1</sup>体制を整えています。さらに、人為的なミスを防ぎ、医薬品の製造管理、品質管理の基準では非常に厳しいc-GMP<sup>※2</sup>やPIC/S<sup>※3</sup>を指向した製造管理システムや品質管理システムなど、国際競争力のある高度な生産体制を実現しています。

- ※1 SCM (Supply Chain management) : 取引先との間の受発注、資材の調達から在庫管理、製品の配送まで、総合的に管理する管理手法
- ※2 c-GMP (Current Good Manufacturing Practice) : アメリカのFDA (Food and Drug Administration, 米国食品医薬品局) が定めた製造管理および品質管理基準で、良質な医薬品製造を行うための医薬品製造施設における建築、設備、製造ライン、生産情報システム、オペレーションに関する基準
- ※3 PIC/S : 「医薬品分野での調和されたGMP基準及び査察当局の品質システムの国際的な開発・実施・保守」を目的に作られた機構



(株)三和化学研究所 FUKUSHIMA工場における錠剤自動検査機による錠剤の外観検査

(株)三和化学研究所 FUKUSHIMA工場における高品質な錠剤を成形するための流動層造粒機を用いた薬のもととなる粉体の粒体化



目標：高品質な商品・サービスの提供

## 安全・安心な医薬品を安定的にお届けするために 品質の確保とトレーサビリティに取り組んでいます

医薬品流通に携わるスズケングループ各社において、医薬品の「品質の確保」については「温度管理」の徹底を重視しています。輸配送用の車両の一部には保冷車を採用し、特に厳格な温度管理を必要とする医薬品においては、社内品質基準を定め、長時間温度を一定に保つ「定温輸送ボックス」を用いてお届けしています。「定温輸送ボックス」には「温度ロガー (温度記録装置)」を設置し、温度管理の状態を確認できるようにしています。

また、医薬品メーカーからの入荷後、製造番号と有効期限を一元管理し、すべての医薬品の流通経路を明確にするトレーサビリティ (追跡調査) を可能とする物流システムを導入しています。これにより、万が一医薬品の回収が必要になった場合でも、速やかに対応することができます。

[定温輸送ボックスと関連資材]

外気温「連続+35℃」および「連続-10℃」の状況下で72時間「2~8℃」および「-15℃以下」を維持することを社内品質基準としています。



定温輸送ボックス



定温輸送ボックス内



保冷剤



温度ロガー (温度記録装置)

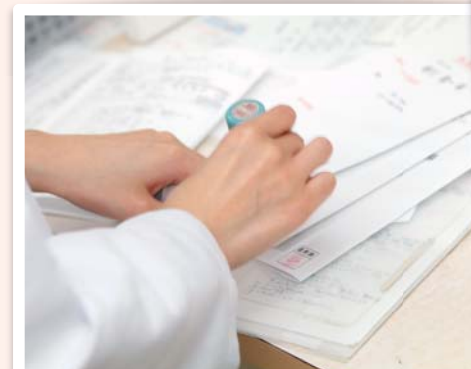
目標：高品質な商品・サービスの提供

## 患者さまにご満足いただけるよう 品質の維持・向上に取り組んでいます

保険薬局事業では、104店舗 (2013年3月31日現在) でISO9001<sup>※4</sup>の認証を取得しています。品質の維持・向上を図るための仕組みや手順にしたがって、医薬品の管理、患者さまへの調剤や服薬指導を行っています。

また、患者さまへのサービス向上や知識・技術のさらなる習得に向けて、事例やノウハウ等を豊富に有する薬科大学と連携し、教育ツールを作成しました。教育ツールを活用することで、サービスの質や医薬品の品質維持・安全意識の向上を図っています。

※4 ISO9001: 品質マネジメントシステムの国際規格



(株)ファーコスにおけるISO9001に準拠した調剤鑑査

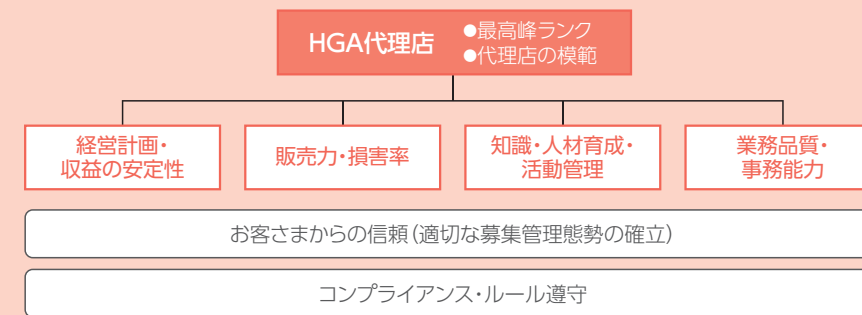


(株)ファーコス ファーコスあい薬局における澁川淳子薬剤師による調剤業務

目標：高品質な商品・サービスの提供

## 質の高い保険サービスを提供しています

[三井住友海上火災保険(株)が標榜する目指すべき代理店像]



(株)ライフサポートは保険代理店事業において、業務品質やコンプライアンス意識の向上、お得意さま対応や販売力の強化に努めています。三井住友海上火災保険(株)の代理店格付け制度の最高峰ランクである「HGA (ハイグレードエージェント)」に認定されるなど、質の高い保険サービスを提供しています。

# ビジネスパートナー ともによきパートナーとして 相互に発展していきたい

## 重点テーマ

相互発展に向けた公正・公平かつ  
透明な関係の強化

## 目標

- 公正・公平な取引に向けたコンプライアンスの徹底
- パートナー企業との協働を強化

※2012年度と2013年度の  
目標は同じ

### 重点テーマ

## 「相互発展に向けた公正・公平かつ 透明な関係の強化」に向けて

グループ各社の事業活動全般に関わるあらゆるビジネスパートナーと公正・公平かつ透明な取引を基本に信頼関係を構築し、相互発展を図ります。

目標：公正・公平な取引に向けたコンプライアンスの徹底

## 「下請法」<sup>※1</sup>と「海外腐敗行為防止法」<sup>※2</sup> への理解を深めました

2012年度は「下請法」をはじめとしたビジネスパートナーに係る項目を掲載した「コンプライアンスハンドブック」をグループ従業員へ配付しました。また、(株)スズケンでは外資系医薬品メーカーさまと取引をする上で必要となる「海外腐敗行為防止法」の知識の習得については、e-ラーニング形式にて学習を実施しました。今後の課題として、学習の継続性を高め、理解を深めるとともに、これらの学習をグループ全体で行うことが重要であると考えています。

- ※1 下請法：親事業者の下請事業者に対する優越的地位の濫用行為を規制する法律の略称
- ※2 海外腐敗行為防止法：外国公務員や民間人に対する贈賄等を禁止する海外の法律の総称



コンプライアンスハンドブック

海外腐敗行為防止法のe-ラーニング資料

目標：パートナー企業との協働を強化

## 物流関係の ビジネスパートナー との協働に力を入れています

医薬品卸売事業において、4箇所の物流センター業務と、医療機関・保険薬局への配送業務の一部を外部委託しています。高品質で安定的な医薬品流通を維持・向上させるにはビジネスパートナーとの信頼関係を構築し、一体となった取り組みが不可欠です。そのため、物流関係のビジネスパートナーとの協働に力を入れています。今後も、ビジネスパートナーとの連携を強化し、目標を互いに共有することで、高品質で安定的な医薬品流通のさらなる維持・向上に向けて、共に取り組んでいきます。



阪神物流センターにおける(株)スズケン、(株)スズケンロジコムとキムラコミュニティ(株)さまとの定例会議



江南物流センターにおける(株)スズケン、(株)スズケンロジコムとトランコム(株)さまとの品質改善報告会

# 地域社会 かけがえのない存在になりたい

## 重点テーマ

- 地域住民の健康維持・増進支援
- 次世代の育成支援

## 目標

- 健康維持・増進に関する支援
- 子どもの健全な成長の支援
- 学生の教育に関する支援

※2012年度と2013年度の  
目標は同じ

### 重点テーマ

## 「地域住民の健康維持・増進支援」 「次世代の育成支援」に向けて

保険薬局事業では、地域のすべての皆さまに気軽に健康の相談にご来局いただける薬局づくりを目指しています。また、子どもや学生の健全な成長の支援、薬剤師養成のための講師派遣、薬学生の実務実習の受け入れ、薬剤師奨学金制度<sup>※3</sup>の設置など、積極的な支援を行っています。

※3 (株)エスマイルの独自の制度で、地域医療に貢献し、地域医療の担い手となるべき薬剤師の育成を目的として運営

目標：健康維持・増進に関する支援

## 健康に関心を 持っていただける機会を 設けています

当グループは、地域のすべての皆さまに健康になっていただきたいと願っています。こうした想いから、保険薬局事業では、「健康相談会」や「健康フェア」、お父さまが薬剤師を疑似体験できる「子供薬剤師体験」などのイベントを実施し、処方せんをお持ちいただく患者さまだけでなく、地域のすべての皆さまに気軽に健康の相談にご来局いただけるきっかけづくりをしています。今後は、保険薬局事業以外のグループ会社でも地域のすべての皆さまの健康維持・増進に向けた取り組みを行う必要があると考えています。



(株)ファークス ファークスとみだ薬局における健康相談会 (薬と健康の広場)

(株)エスマイル 海老山薬局における子供薬剤師体験

目標：子どもの健全な成長の支援

## 健康をテーマ としたカレンダーを 寄贈しています

医薬品卸売事業では、次世代を担う子どもたちへの健康教育にお役立ていただくために、幼稚園・保育所など未就学児童を預かる全国の556施設に、時季の健康をテーマとした「オリジナルカレンダー」を寄贈しています。

医薬品卸売事業各社が寄贈した  
2013年オリジナルカレンダー



TOM AND JERRY and all related characters and elements are TM & © Turner Entertainment Co. (s13)

目標：学生の教育に関する支援

## 実習受け入れ など薬学教育を支援しています

保険薬局事業では、全国で薬学生の实務実習を受け入れており、2013年3月31日現在、認定実務実習指導薬剤師は131名です。また、入学間もない大学1年生に大学6年間の勉学へのモチベーションを高めていただくために、早期体験学習の機会を設けて現場の雰囲気を知っていただく活動を行っています。



(株)ファークスのぞみ薬局須田町店における  
吉富由梨薬剤師による薬学生への実務実習指導

# 株主・投資家 スズケングループを深くご理解いただきたい

重点テーマ	目標
1 株主・投資家の皆さまとのコミュニケーション強化	●適時・適切な情報開示 ●IR活動の充実
2 株主還元の充実	●安定的な配当の継続 ●株主優待の充実

※2012年度と2013年度の目標は同じ

## 重点テーマ 1 「株主・投資家の皆さまとのコミュニケーション強化」に向けて

「企業倫理綱領」や関連法規に基づいて、適切かつタイムリーな情報開示に努めています。また、当グループをより深く理解していただくために、IR活動の充実に取り組んでいます。

目標：適時・適切な情報開示

### 積極的かつ適時・適切な情報開示を実践しています

透明性の高い経営体制構築の一環として、「企業倫理綱領」にて企業情報の適切かつタイムリーな開示についての具体的な指針を明文化し、積極的かつ適時・適切な情報開示を実践しています。

目標：IR活動の充実

### 積極的なIR活動を推進しています

IR活動については、投資家の皆さまのみならず多くの方々に向け、積極的に推進しています。アナリスト・機関投資家さまへは、決算説明会や個別ミーティングを行い、個人投資家さまへは、IRイベントを通してコミュニケーションを図っています。また、株主の皆さまへは、招集通知や株主総会の内容の充実に取り組んでいます。海外の投資家さまへは、英文の決算関連資料やアニュアルレポートを作成しています。



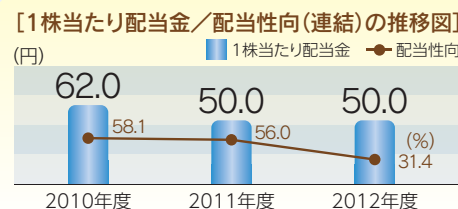
## 重点テーマ 2 「株主還元の充実」に向けて

安定的な配当の継続と株主優待の充実による、魅力ある株主還元に取り組んでいます。

目標：安定的な配当の継続

### 継続的な業績向上に基づく増配を目指しています

安定的な配当の継続を基本に、連結配当性向30%を目処として段階的に引き上げることを基本方針とし、継続的な業績向上に基づく増配を目指しています。



目標：株主優待の充実

### 選択式の株主優待制度を設けています

株主優待制度を設けています。株主さまのご要望に幅広くお応えするため、選択式を導入しています。

# 地球環境 地球の健康に貢献したい

重点テーマ	2012年度目標	2013年度目標
地球温暖化対策の強化	●CO <sub>2</sub> 排出量の削減	●CO <sub>2</sub> 排出量の削減…前年比 約 <b>0.5%削減</b> ※1
省資源・循環型社会への貢献	●環境にやさしい製品の開発	●環境にやさしい製品の開発

※1 目標数値は、株主スズケンの目標  
※2 ISO14001:環境マネジメントシステムの国際規格

## 重点テーマ 「地球温暖化対策の強化」「省資源・循環型社会への貢献」に向けて

株主スズケンの本社・物流センターでは、ISO14001※2認証を取得し、「環境方針」のもと、「省資源・省エネルギー」「廃棄物の削減・リサイクル」「汚染の予防」「業務の効率化」に重点をおいた取り組みを行っています。

目標：CO<sub>2</sub>排出量の削減

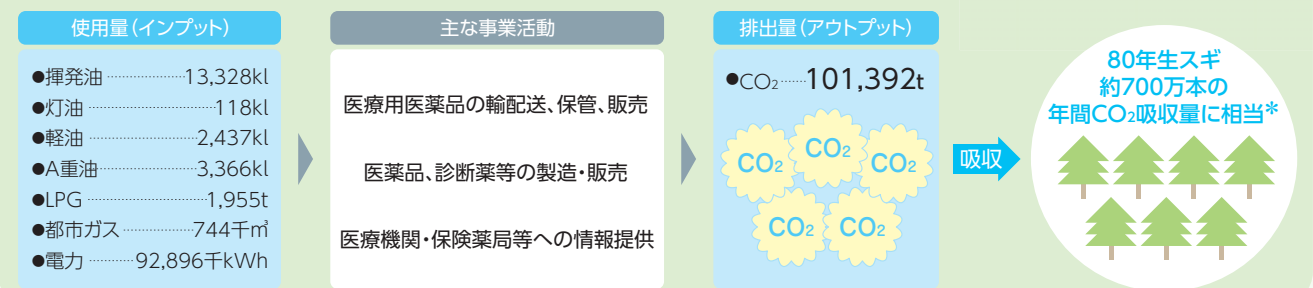
### 電力使用量と車両燃料の削減を中心に取り組んでいます

当グループの事業活動による環境負荷は、オフィスや物流センター・研究所・工場などで使用する電力と、商品の流通時に使用する車両燃料から換算されるCO<sub>2</sub>がグループ全体のCO<sub>2</sub>排出量の約90%を占めます。CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた活動として、省エネ車両(ハイブリッド車)などへの切り替え、エコドライブの励行による燃料消費量の削減をはじめ、

オフィスにおける節電活動、節電効果の高い場所のLED化、業務改善による活動時間の短縮などを中心に行っています。今後は、ISO14001の認証取得から学んだ環境マネジメントの手法を全事業所およびグループ会社へ展開していく必要があると考えています。



【2012年度 事業活動と環境負荷】(株主スズケンと13社)



\* 林野庁ホームページを参考にして算出

目標：環境にやさしい製品の開発

### 環境に配慮した製品を開発しています



▲SDメモリーカードと同等サイズまで小型軽量化し、防水機能も備えた(株)スズケンの超小型防水ホルター心電計「Cardy303pico+」



▲ケンツメディコ製の小型化・安全・快適性を追求したワンハンド電子血圧計「レジーナ」

(株)スズケンのケンツ事業部およびケンツメディコ(株)では「使用者さま・患者さまの安全・快適性への配慮」、「小型化・ペーパーレス化などによる省資源化」という視点に立って医療・健康機器を開発しています。今後は、これまで以上に「環境・使用者さま・患者さまにとってやさしい製品」を開発していきます。

増加する糖尿病患者と合併症予防の重要性

2011年の「国民健康・栄養調査」(厚生労働省)によると、「糖尿病が強く疑われる人」や可能性を否定できない「予備群」が合わせて成人の27.1%と推計され、4人に1人以上が糖尿病の発症・進展リスクに直面しています。

糖尿病の怖さは、神経障害、網膜症、腎症、さらに心筋梗塞や脳卒中といった合併症の併発などによって、患者さまのQOLを著しく低下させることです。

2012年において糖尿病は新規透析導入の最大の原因疾患であるとともに、成人中途失明の原因疾患の第2位に位置し、さらには心筋梗塞や脳卒中のリスクを2~3倍増加させるとされています。

生活習慣病の一つである糖尿病の治療は、食事療法と運動療法を基本に、それだけでは十分な効果が得られない場合に薬物療法を行います。糖尿病の治療で最も大切なのは、良好かつ良質な血糖コントロール状態を維持して合併症を防ぐことです。というのも、大幅な血糖変動は血管の内側を傷つけ、その結果、さまざまな障害を起こしやすくと考えられているからです。特に、食後に生じる血糖上昇をいかに抑えるかが、合併症予防の鍵を握ります。

目指すは「糖尿病治療のベストパートナー」

(株)三和化学研究所は、「人にやさしい“くすり”を世界の人びとに」という企業理念のもと、「医薬品」「診断薬」「ニュートリション<sup>※1</sup>」の3事業の展開によって糖尿病治療のベストパートナー企業を目指しています。

診断薬事業は、糖尿病の診断やコントロール状況の把握に必要な血糖測定器やHbA1c<sup>※2</sup>測定機器の普及を通して、また、ニュートリション事業はさまざまな食品の提供によって食事療法に新たな選択肢を提案することで、患者さまへの貢献を目指しています。そして、医薬品事業では、2006年1月に発売した糖尿病治療薬「セイブル錠」を主力製品に位置づけ、良好かつ良質な血糖コントロール実現に向けて努力を続けています。

「セイブル錠」による糖尿病治療への貢献

糖尿病の薬物治療は、過去1ヵ月から2ヵ月の平均的な血糖の状態を知ることができるHbA1cを指標として行われています。具体的には、低血糖や体重増加を起こすことなく、HbA1cを7%未満に抑えることを目標にします。しかし、やみくもにHbA1cの値を正常化させる治療では、必ずしも患者さまの予後を改善できないことが大規模な臨床研究によってわかってきました。

一方、1日の血糖変動を数日間わたって連続的に測定できるCGMという手法が臨床に応用されるようになると、HbA1cが7%未満であっても患者さまの食生活や運動量、あるいは処方薬の違いによって血糖の変動が大きく異なり、なかには著しい低血糖や食後高血糖が隠れている場合も多く発見されました。しかし、「セイブル錠」を食事の前に服用しておく、他の糖尿病治療薬と比べても1日の血糖が平坦化しているという臨床データが数多く報告されたのです。

「セイブル錠」は、発売当初から「食べ始めから食後1時間までの急峻な血糖上昇を抑える」ことを最大の特長として情報提供を行い、多くの糖尿病専門医の方々にその力を認めていただきました。その流れが糖尿病診療に携わっている全国の医師へ広がり、良質な血糖コントロールを得るために必須の薬剤として認知されていきました。

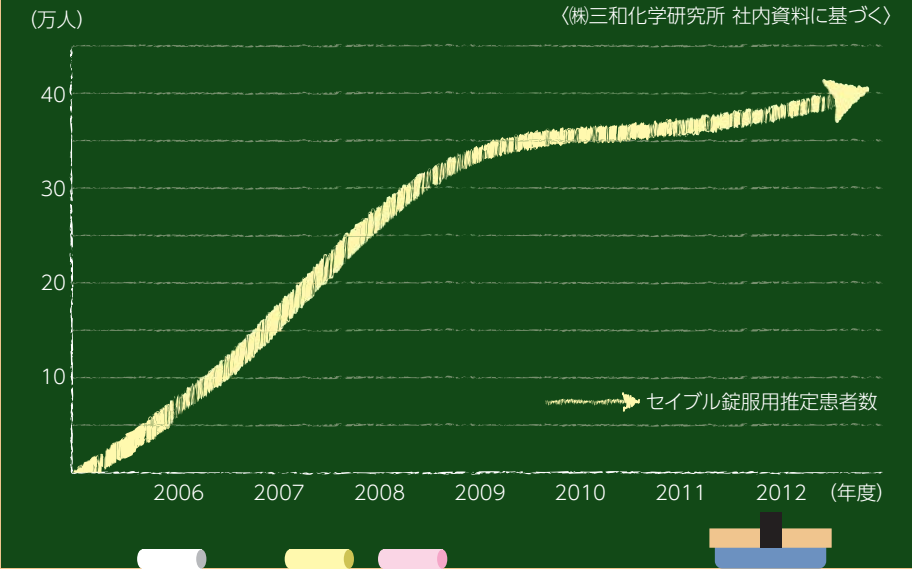
これからも多くの患者さまに「セイブル錠」を服用していただけるよう、糖尿病治療の新たな価値創造に向けて科学的データの蓄積を続けていきたいと思えます。

Close-Up 1  
QOL向上に役立つ  
商品・サービスの提供

# 糖尿病治療の ベストパートナーを目指して

お得意さま×株式会社三和化学研究所

セイブル錠 服用推定患者数の推移



※1 ニュートリション: ニュートリションは「栄養」という意味。ニュートリション事業では医療・介護用食品、ヘルスケア製品など、栄養管理に欠かせない製品を提供  
 ※2 HbA1c (ヘモグロビンA1c): 過去1ヵ月から2ヵ月の平均的な血糖の状態を表す指標  
 ※3 α-グルコシダーゼ阻害剤: 食事に含まれている糖の分解・消化を妨げることで、食後の急峻な血糖上昇を抑える薬  
 ※4 DPP-4阻害剤 (dipeptidyl peptidase-4 inhibitor ジペプチジルペプチターゼ-4阻害剤): DPP-4という酵素の働きを妨げ、良好かつ良質な血糖コントロールを得るための薬  
 ※5 高尿酸血症: 尿酸値 (血液中の尿酸の濃度) が7.0mg/dlを上回る状態



糖の分解・消化を助け、食後の急激な血糖上昇を抑える作用に優れた薬「セイブル錠」



「セイブル錠」のマスコット、セイブルドッグです。2013年1月、「セイブル錠」はα-グルコシダーゼ阻害剤<sup>※3</sup>のトップブランドに成長しました。

すべての人々のQOLの維持・向上のために

2013年6月現在、「セイブル錠」は約40万人の患者さまに服用していただいています。加えて、2012年11月、選択的DPP-4阻害剤<sup>※4</sup>・2型糖尿病治療剤「スイニー錠」を発売しました。2型糖尿病の新しい治療薬として注目されるDPP-4阻害剤は医薬品メーカー各社から発売

されており、その処方量は爆発的に伸びています。その中で、「スイニー錠」は1日2回投与と製剤であるがゆえの特徴を活かし、より多くの患者さまの良好かつ良質な血糖コントロールに貢献してまいります。

また最近、糖尿病に加えて患者さまのQOLへ支障をきたす生活習慣病の一つに高尿酸血症<sup>※5</sup>があります。これを解決すべく、新たな高尿酸血症治療剤「ウリアデック錠」を開発・発売しました。(株)三和

化学研究所は、糖尿病をはじめとして、生活習慣病のリスクにさらされているすべての人々のQOL維持・向上に貢献できるよう邁進してまいります。



DPP-4という酵素の働きを助け、良好かつ良質な血糖コントロールを得るための薬「スイニー錠」

【株式会社三和化学研究所 会社概要】



セイブル錠を製造している FUKUSHIMA工場

本社所在地	愛知県名古屋市中区東外堀町35番地
設立	1953年12月
事業内容	医薬品、診断薬、医療・介護用食品、ヘルスケア製品の研究開発と製造販売、医薬品の受託製造
売上高	684億53百万円(2013年3月期)
従業員数	1,507名(2013年3月31日現在)

# Close-Up 2

QOL向上に役立つ  
商品・サービスの提供



患者さまのご自宅へ訪問し、服薬管理を行う(創業当初の様子)



医師の往診へ同行



在宅クリニックで開催される毎朝のカンファレンス



施設での在宅医療チームのカンファレンス

# 高い専門性と地域連携 在宅医療で 患者さまの QOL向上に貢献

## 超高齢社会で求められる 保険薬局の機能強化

急速な高齢化の進展の中で、国は2012年を「新生在宅医療・介護元年」と位置づけ、積極的に在宅医療を推し進めています。その背景には、国民の6割が人生の最期を迎える場所として「自宅」を望んでいる\*1こと、2025年には年間の死亡者数が150万人を超えると推計され\*2、従来の施設を中心とした医療・介護では対応が難しくなっていることがあげられます。

住み慣れた自宅で、必要な医療・介護を受けながら、最期まで自分らしい生活を送りたい——。その願いを実現するためには、地域一体となった医療・介護の提供体制が不可欠です。その中で、保険薬局には外来調剤だけでなく、患者さまのご自宅に薬をお届けして服薬管理や副作用チェックなどを行うことで、安心して薬物治療を続けられるよう支援することが求められています。

\*1 出典：厚生労働省「平成20年終末期医療に関する調査」  
\*2 出典：国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集2013年版」

## 在宅医療における新たな挑戦

2013年6月現在、全国に185の保険薬局を展開する(株)ファークスは、処方せん調剤を中心として、病気の予防や健康づくりのサポート、介護サービスなどを提供し、医療・福祉への貢献を目指しています。1993年の創業当初より、自宅や高齢者施設で療養する患者さまが薬を安全に安心して服用できるようサポートしていきたいという想いで在宅医療に取り組んでいます。現在では全薬局が在宅患者訪問薬剤管理指導の届出をしており、5,000人超の患者さまの在宅療養を支援しています。

(株)ファークスが力を入れている分野の一つに、難治性疾患やがんの終末期などにより在宅で高度な医療を必要とされる患者さまのサポートがあります。そうした患者さまが使用する高カロリー輸液や医療用麻薬などは、安全性確保のために無菌環境での製剤が必要なものも多く、どの薬局でも対応できるというわけではありません。(株)ファークスでは無菌調剤室を備えた6薬局で、専門的な教育を受けたスタッフが調剤や薬剤の配送、服薬管理などを行っており、今後も体制の強化を進める予定です。

## 在宅医療を牽引する 「ファークス用賀三丁目薬局」

2007年6月、東京都世田谷区に無菌調剤室を備えた「ファークス用賀三丁目薬局」を開設しました。在宅医療に特化した薬局として、中心静脈栄養、経腸栄養、疼痛緩和などを必要とされる患者さまをはじめ、有料老人ホームやグループホームなどの高齢者施設に入居されている方々が安心して療養できるよう支援しています。現在は薬剤師7名の体制で在宅患者さま約90名/月、施設ご利用者約350名/月に対応しています。

<ファークス用賀三丁目薬局の取り組み>  
高度な在宅医療のモデル薬局として、将来を見据えたさまざまな取り組みを展開しています。

①在宅薬物療法の連携コーディネーター  
例えば患者さまが退院される際、スムーズに在宅医療に移行できるように、入院中の情報収集と処方提案、必要な薬剤の調達および無菌調剤、輸液セットや輸液ポンプといった医療材料、衛生材料などの手配、患者さま・ご家族への指導、在宅医師や訪問看護師への情報提供などを行います。在宅療養を続けながら社会参画される患者さまや、時には旅行に行きたいと希望される在宅患者さまのために無菌製剤の配送の手配をすることもあります。いずれも多方面との調整が必要であり簡単なことではありませんが、患者さまのQOL向上のために、薬剤師でなければできない大切な仕事です。

②多職種連携のネットワークづくり  
在宅医療では、患者さまに関わる医師・介護スタッフとの情報共有と連携は必須です。近隣の在宅クリニックで開催される毎朝のカンファレンスに薬剤師が参加して情報交換を行っているほか、有料老人

ホームでは、医師の往診に同行したり、施設内カンファレンスにも積極的に参加しています。地域の他職種と顔の見える関係を築くことはチーム医療の第一歩であり、薬剤師が患者さまのために専門性を発揮するためにも欠かせません。

③在宅医療・介護の拠点として  
2013年9月、薬局に併設して居宅介護支援事業所を開所しました。これを機に今後は、患者さま・ご家族の生活を、医療と介護の両面で支える体制を整備していきます。

## 患者さまの希望をかなえ、 QOL向上に貢献

在宅医療において保険薬局にはこれまで以上に高い専門性と幅広い機能が求められます。今後、(株)ファークスでは「ファークス用賀三丁目薬局」など在宅医療の拠点となる基幹薬局を各地に展開し、培ったスキルとノウハウの公開、無菌調剤室の共同利用の推進などによって社内外の連携ネットワークを構築し、地域の医療水準向上に貢献したいと考えています。そして、自宅で療養したい、最期まで自分らしい生活を送りたいという患者さまの希望をかなえ、QOL向上に貢献してまいります。



訪問服薬管理の準備



無菌環境での製剤(高カロリー輸液)

**【株式会社ファークス 会社概要】**

ファークス用賀三丁目薬局	本社所在地	東京都千代田区神田練馬町68番地1 ムラタヤビル2階
	設立	1993年2月
	事業内容	保険薬局
	売上高	273億26百万円(2013年3月期)
	従業員数	916名(2013年3月31日現在)

## 医療機器メーカーとしての社会的使命

聴診器・血圧計を中心とした医療機器を開発・製造・販売するケンツメディコ(株)は、日本をはじめ世界30数カ国の医療現場に

高品質な製品を提供し、診断・治療のお役に立つことを目指しています。

ここ数年、環境にやさしい製品の開発を強く意識してきました。中でも、血圧計における「脱水銀」は世界的な潮流であり、2013年10月に国連で「水銀に関する水俣条約」が採択され、2020年までに水銀血圧計の製造と輸出入は原則禁止される見込みです。ケンツメディコ(株)においても、2008年以降、脱水銀の血圧計開発に積極的に取り組んできました。

一方で、医療機関における省エネ・環境

改善活動への支援も医療機器メーカーの大切な役割です。節電やペーパーレス化などの「エコオフィス活動」の支援はもちろんですが、近年、業務を効率化することで省エネにつなげる「業務改善活動」への支援が重要視されるようになりました。多忙を極める医療現場の業務改善に貢献する医療機器の開発は、患者さまのQOL向上のみならず、地球環境の保全という側面からも大きな意味を持つと考えます。



### レジーナ

信頼性の高い技術と多彩な機能で医療現場をサポートします

## 廃棄物削減・省資源を意識した製品開発

水銀血圧計は正確な計測ができることから医療現場で根強く支持されており、現在も多くの医療機関で使用されています。しかし、水銀が環境・人体におよぼす影響は深刻であり、廃棄の際には適切な処理が不可欠です。「脱水銀」への社会的要請が高まる中、ケンツメディコ(株)は水銀不使用で水銀血圧計と同等の正確性を持つワンハンド電子血圧計「レジーナ」の開発に力を注ぎ、製品化に成功、2010年9月に販売を開始しました。

「レジーナ」が目指したのは脱水銀だけ

ではありません。包装における梱包材の廃止、パッケージは印刷なしの無地箱とし、必要な表示はシール貼付で対応するなど軽包装化も追求しました。脱水銀と軽包装化、これらを成し遂げたことによって廃棄物の削減・省資源を実現しました。また、小型化によって水銀血圧計の約1/5程度にまで軽量化(容積は約2/3)したことで、輸送効率が向上し、血圧計1個あたりの輸送に必要な燃料量の削減、CO<sub>2</sub>排出量削減にもつながります。

これらがもたらす効果はほんのわずかもかもしれません。しかし、一つひとつを着実に積み重ねていくことによって、未来の地球環境に必ず貢献できるはずで

## Close-Up3

環境にやさしい製品の開発

# 電子血圧計による環境保全への貢献

地球環境×ケンツメディコ株式会社

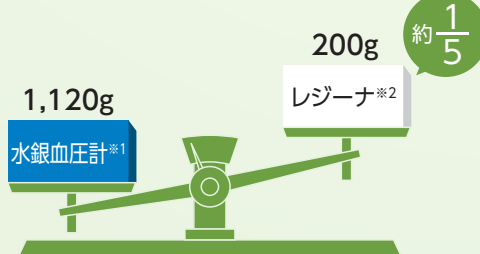
### 包装仕様と重量の比較

#### [水銀血圧計]

箱の大きさ: 10.5cm×35.2cm×6.3cm 容積: 2,328cm<sup>3</sup>

#### [レジーナ]

水銀血圧計の約  $\frac{2}{3}$   
箱の大きさ: 10.7cm×18.5cm×7.8cm 容積: 1,544cm<sup>3</sup>



※1 水銀血圧計: 本体+カフ+ゴム球=1,120g  
※2 レジーナ: 本体+カフ+電池=200g



夜間の測定でも便利なバックライト

## 医療現場の業務改善をサポート

「レジーナ」開発におけるもう一つの主眼「医療現場の業務改善への貢献」については、従業員だけでなく、代理店である(株)スズケン(株)の医療機器担当者や営業担当者、関連部署の人間が一堂に会して意見交換を行う場を幾度となく設けました。また、看護師の方々へのグループインタビューを実施し、医療現場の「生の声」もお聞きしました。

「従来の血圧計はゴム球が固くて、加圧ポンピングが大変。もっと楽にできるようにしてほしい」「消灯後の暗い病室では計測数値が見えにくい」

こうした意見を参考に、本製品は「使いやすい」、「表示の見やすさ」、「清潔」、

「コンパクト」などをテーマに、以下の4つの新たな工夫を施しました。

- ① ゴム球にシリコン素材を採用。加圧ポンピングが楽になり、回数も従来品の半分に削減し、測定業務を軽減。ゴムアレルギーの不安も解消。
- ② 表示画面にバックライトを導入。暗い病室でも測定値の確認を可能に。
- ③ カフ(腕帯)に次亜塩素酸洗浄が可能素材を採用。長期にわたって清潔な使用が可能に。
- ④ 軽量・コンパクト化により狭いベッドサイドでの測定や患者さまの急変時の血圧測定の迅速化、在宅患者さまへの往診や訪問看護での使用など、臨床現場での使い勝手や携帯性が向上。



レジーナでの血圧測定

## 人と環境にやさしいモノづくり

2013年6月現在、「レジーナ」は国内で約2万5千台使用され、医療現場の業務改善さらには環境保全に貢献しています。2013年5月には卓上型の「水銀レス血圧計」を発売しました。本製品も「レジーナ」同様、製造・輸送・使用・廃棄などあらゆる場面で「人にやさしい」「環境に

やさしい」製品をお届けしたいとの想いで開発しました。

この想いは血圧計だけでなく、ケンツメディコ(株)のすべての製品開発における礎となっています。これからも製品開発における環境改善活動を推進するとともに、「健康創造」を事業領域とするスズケングループの医療機器メーカーとしての社会への責任の果たし方を追求していきます。



### 【ケンツメディコ株式会社 会社概要】

本社所在地 埼玉県本市市児玉町共栄552番地1  
設立 1991年12月  
事業内容 医療機器製造業・製造販売業・販売業・修理業  
売上高 8億33百万円(2013年3月期)  
従業員数 37名(2013年3月31日現在)

## 水銀レス血圧計

水銀を使用しない卓上型の電子血圧計



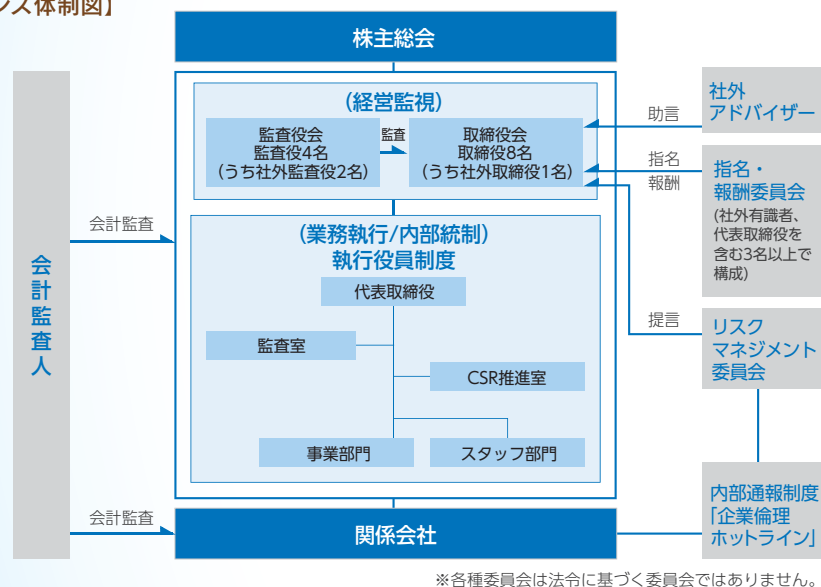
# 健全な企業活動で すべての人々を笑顔に

## コーポレート・ガバナンス

### コーポレート・ガバナンスの基本的な考え方

当グループは、コーポレート・ガバナンスの強化を経営上の重要なテーマと位置づけ、「マネジメント体制の強化」「リスク管理体制の強化」「ディスクロージャーおよびアカウントビリティの充実」を基軸とした取り組みにより、当グループに対するステークホルダーからの信頼を高め、継続的かつ健全な発展を図っています。

#### 【コーポレート・ガバナンス体制図】



### マネジメント体制の強化

㈱スズケンでは、経営監督機能と意思決定機能を取締役が担い、業務執行機能を執行役員が担う体制としています。これまでに役員退職慰労金制度の廃止、取締役の定員枠の縮小、業績や貢献度に連動した役員報酬制度を導入しています。また、取締役の任期を定款で1年と定め、取締役の職務執行の責任強化を図っています。

グループ会社の管理体制に関しましては、「㈱スズケンからの取締役もしくは監査役への派遣」、「関係会社管理規程に準拠した㈱スズケンへの報告・決裁承認体制」および「㈱スズケンの監査役、監査室及び会計監査人によるグループ会社各社の定期監査の実施」などにより、グループ会社の役員及び従業員の職務執行状況の監督・監査を行っています。また、グループ会社各社の特質などを踏まえ、適切な内部統制システムの整備・指導を行っています。

### 内部統制システムに関する基本的な考え方

当グループは、効率的かつ健全性が高く、また継続的な「評価」と「改善」による質の高い内部統制システムの追求と構築、コンプライアンス、リスク管理に関する方針などの周知徹底を通じた実践的運用に努めることを第一義と捉えています。

2006年5月施行の会社法・同施行規則に基づき、取締役会において、「内部統制システム構築の基本方針」を決議しています。

財務報告に係る内部統制への対応につきましては、社長直轄の組織である「CSR推進室」が中心となり、内部統制に関連する諸規程・マニュアルの整備や、運用ルールの周知徹底・教育を図るとともに、監査室との連携による運用状況の継続的モニタリングを行い、内部統制の経営者評価が確実に実施できる体制を整えています。

## リスクマネジメント

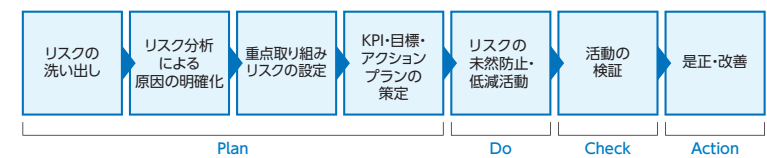
### リスクマネジメント体制

リスクマネジメント体制をさらに確固たるものにするため、取締役会の下部機構として、当グループ全体におけるリスク管理を行う「リスクマネジメント委員会」を設置し、原則3か月に1回開催しています。また、当グループのリスクマネジメントを効果的、効率的に行うために、リスクマネジメント委員会の下部組織として、各グループ会社が参画する4つの事業セグメントおよび、㈱スズケンにリスク全般の実務を担う実務委員会を設置しています。委員会では、各事業の特性に合わせたリスクの洗い出しを行い、グループで共有して重点的に取り組む課題を設定し、リスクの未然防止と低減活動を実施しています。2013年度の課題として、「BCP(事業継続計画)」や「交通事故の防止」などを設定し、グループで共有し、取り組んでいます。

#### ● BCP(事業継続計画)への取り組み

「BCP(事業継続計画)手順書」を策定し、それに基づいた具体的な防災対策を継続的に進めています。従業員とその家族の安全確保を最優先し、当グループの経営資源の保全を図りながら、生命関連商品の流通を担う企業としての社会的責任を果たしていくことが最大の目的です。2012年度は、BCPの実効性を確認するため、BCP訓練を実施しました。また、各物流センター、製薬工場などへ非常用自家発電機を設置するとともに、非常用備蓄、ヘルメットなどの配備を行いました。

#### 【リスクマネジメントフロー図】

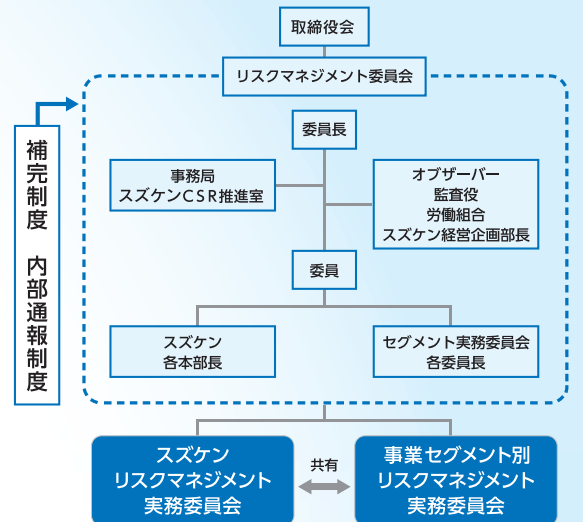


### 内部通報制度

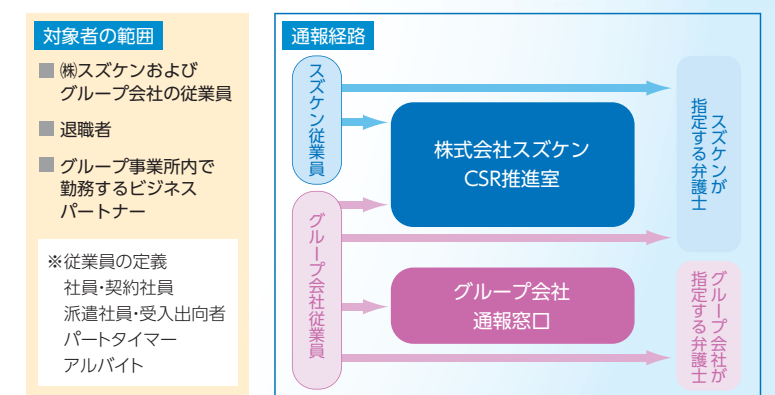
法令などを遵守する体制の一環として、内部通報制度「企業倫理ホットライン」を導入しています。

㈱スズケン CSR推進室では専用電話番号、専用メールアドレスを設置するとともに、手紙についても一元管理する体制を整えています。そして、従業員などは法令・定款違反行為、その他スズケングループブランドを傷つける行為が行われ、または、行われようとしていることを知ったとき、「企業倫理ホットライン」へ通報することができます。そうすることで当グループは早期にリスクを察知し、速やかに是正措置を行っています。

#### 【リスクマネジメント体制図】



#### 【企業倫理ホットラインの概要】



## コンプライアンス

### コンプライアンスの浸透活動

従業員のコンプライアンス浸透に向けた活動として、毎年度、グループの医薬品卸売事業の全従業員を対象に、e-ラーニングによるコンプライアンス学習を行っています。また、2011年度にグループ各社で行った「コンプライアンス意識調査」で得られた結果を

フィードバックし、さらなるコンプライアンス意識の浸透活動に取り組んでいます。具体的には、グループ従業員への「コンプライアンスハンドブック」の配付、映像コンテンツを用いたディスカッションによる学習を実施しています。



コンプライアンスハンドブック

医薬品卸売事業

医薬品、診断薬、医療機器・材料等を販売する事業  
(社名下は営業エリアあるいは主な事業内容を記載)

**(株)スズケン**  
北海道から兵庫県(岩手県、栃木県を除く)

**(株)スズケン沖縄薬品**  
沖縄県

**(株)スズケン岩手**  
岩手県

**ナカノ薬品(株)**  
栃木県

**(株)サンキ**  
中国地方の全県

**(株)アスティス**  
四国地方の全県

**(株)翔薬**  
九州地方の全県(沖縄県を除く)

**神宮薬品(株)**  
三重県における臨床検査薬、臨床検査用機械器具等の販売

**クラウド(株)**  
医療機器、医療用具の販売

**(株)スズケンロジコム**  
青森県から兵庫県及び九州地方の一部エリアにおける医薬品等に特化した倉庫・配送業務の請負

**秋山物流サービス(株)**  
北海道における医薬品等に特化した倉庫・配送業務の請負

**(有)サンキ・メディハート**  
中国地方における医薬品等に特化した配送業務の請負

医薬品製造事業

医薬品、診断薬等を製造する事業

**(株)三和化学研究所**

保険薬局事業

医療機関からの処方せんに基づき調剤を行う事業(社名右は保険薬局店舗数を記載)

**(株)すずらん薬局** 10店舗

**(株)エスマイル** 106店舗

**(株)メディンス** 5店舗

**(株)ファークス** 183店舗

医療関連サービス等事業

(社名下は主な事業内容を記載)

**ケンツメディコ(株)**  
聴診器、血圧計等の医療機器の製造・販売

**(株)ライフメディコム**  
医療・健康分野における出版物の発行

**(株)札幌メディケアセンター**  
医療機関向け不動産および診断機器の賃貸

**サンキ・ウエルビィ(株)**  
訪問・通所・施設介護支援サービス

**(株)サンキ・クリニカルリンク**  
臨床試験に関する業務の支援、治験コーディネーターの派遣

**エス・マックス(株)**  
医薬品メーカーのマーケティング支援

**(株)シルバーメイト**  
介護用品のレンタルおよび販売、バリアフリー住宅の設計・施工

**(株)ジェイ・アイ・ティー**  
病院向けの医療材料を中心としたSPD(物流管理システム)

**(株)ライフサポート**  
保険代理店事業、食品等販売事業、什器備品販売事業

**(株)ガレノス**  
医療食品、介護食品、栄養機能食品の販売

**(株)コラポワークス**  
医薬品メーカー物流におけるウェアハウス事業

**(有)九薬サービス**  
保険代理店事業

**中央運輸(株)**  
医薬品のトータル物流コーディネート

**P・J・Dネットワーク(株)**  
医薬品の全国配送ネットワーク

**グッドサービス(株)**  
配送運転手の派遣

**(株)エスケアメイト**  
介護付き有料老人ホーム、グループホーム、在宅複合事業所の運営

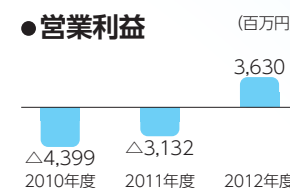
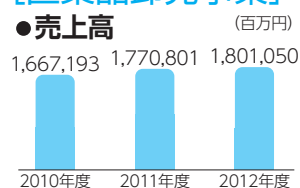
**(株)SDネクスト**  
希少疾病領域における総合支援

※上記34社以外に21社のグループ会社があります。

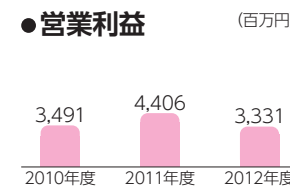
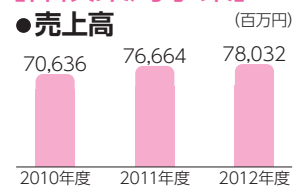
業績(セグメント別)

(注)セグメント別の売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

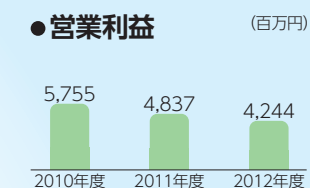
【医薬品卸売事業】



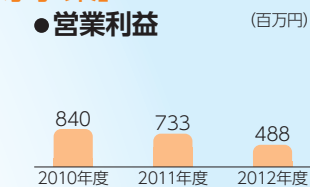
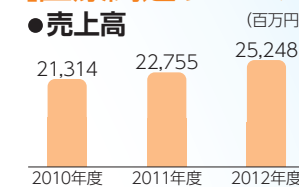
【保険薬局事業】



【医薬品製造事業】

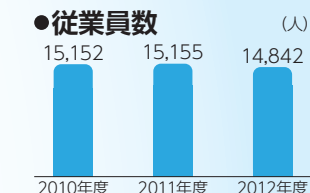
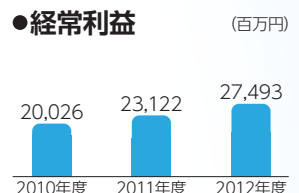
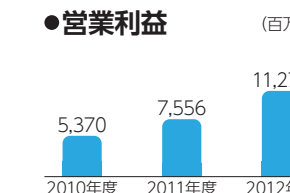
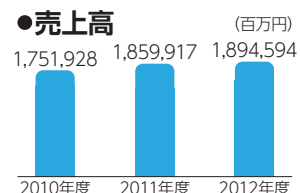


【医療関連サービス等事業】



業績(連結)

(株)スズケン、連結子会社54社)



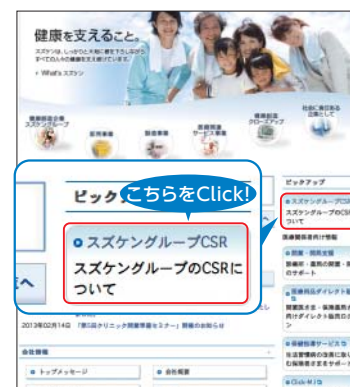
アンケートのお願い

皆さまからの貴重なご意見を今後の活動の参考にさせていただきたいと思っております。忌憚のないご意見をホームページへお寄せいただければ幸いです。

URL <http://www.suzuken.co.jp/>

スズケン  検索

スマートフォンはこちら



スズケン公式Webサイトトップ



CSRトップメッセージ



スズケングループCSR報告書

編集後記

スズケングループCSRがスタートして3年、グループの方向性の統一化を目指して、ステークホルダー別に「基本的な取り組み姿勢」、「重点テーマ」、「取り組み目標」を設定して活動してきました。その中で特に、「従業員」、「地球環境」は定量的な目標を設定し、CSRマネジメントサイクルが見えるよう心がけました。

3年間の活動を通して見えてきたことは、CSR推進の両輪である

「新たな価値創造」と「経営基盤の浸透」の課題には多くの共通点があることです。

今後は、すべての人々の「笑顔」の実現に向けて「新たな価値創造」と「経営基盤の浸透」を連動させ、取り組みにつなげていきます。そうすることで課題の解決を図り、さらなる高みに向けて挑戦を続けていきたいと考えています。

(株)スズケン CSR推進室